

岐阜信用金庫 創立100周年

フリーアナウンサー
草野 満代 さん

記念対談

岐阜信用金庫
好岡 政宏 理事長

くさの・みつよ 中津川市(旧恵那郡福岡町)出身。恵那高校理科科、津田塾大学文学部数学科を卒業後、1989年、NHK入局。金沢放送局を経て91年に東京アナウンス室。紅白歌合戦の総合司会などを務め、97年に退局。フリーとして、TBS「筑紫哲也NEWS23」のサブキャスターを務めた。

よしおか・まさひろ 大垣北高校、名古屋市立大経済学部卒。1982年入庫し、3店舗の支店長、人事部長を経て2014年に理事に就任。常務、専務、副理事長を歴任し、22年4月から現職。趣味は大相撲観戦。好きな力士は大鵬。小学生から大学まで野球一筋。大垣市出身。安八郡安八町在住。

地域とともに 次の100年へ挑戦



岐阜信用金庫(本部・岐阜市神田町)は3月31日、創立100周年を迎えた。取引先や地域への感謝を込めて、記念事業を約1年かけて積極的に展開している。記念事業の取り組みや同金庫の歩み、今後の展開について、好岡政宏理事長とフリーアナウンサー草野満代さんが対談した。

中小企業の生きる道、日本の技術力は伸びている

草野 満代さんは創立100周年おめでとうございます。100年という節目をどう感じていますか。
好岡 1924年3月31日に有限責任岐阜信用組合が、同年4月7日に有限責任岐阜信用組合が岐阜市に誕生したのが、地域社会の基盤を築き、地域の発展に貢献してきた歴史を振り返ると、驚きと感慨を覚えます。100年という節目は、岐阜の発展と地域の発展を共に歩んできた歴史を振り返る機会でもあります。100年という節目は、岐阜の発展と地域の発展を共に歩んできた歴史を振り返る機会でもあります。

好岡 当座を建てたおかげで、地域社会の皆さま、従業員、そしてご家族までが支えられています。そのおかげで、私たちは地域社会の発展に貢献することができました。100年という節目は、岐阜の発展と地域の発展を共に歩んできた歴史を振り返る機会でもあります。

草野 中企業は地味に頑張っている。そのおかげで、私たちは地域社会の発展に貢献することができました。100年という節目は、岐阜の発展と地域の発展を共に歩んできた歴史を振り返る機会でもあります。

好岡 岐阜の発展と地域の発展を共に歩んできた歴史を振り返る機会でもあります。100年という節目は、岐阜の発展と地域の発展を共に歩んできた歴史を振り返る機会でもあります。

信金では珍しい海外拠点、進出企業に安心感



信金の半数以上が金融機関と連携し、地域の発展に貢献しています。そのおかげで、私たちは地域社会の発展に貢献することができました。100年という節目は、岐阜の発展と地域の発展を共に歩んできた歴史を振り返る機会でもあります。